

予防接種歴の調査について

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻のご入学に向けた準備について、お知らせいたします。

保健学専攻では、多くの学生が病院実習あるいは病院内で研究を行っていますので、いくつかの予防可能な感染症については、1)自分自身を守るため、2)接触した患者さんなどに感染を広げないために、「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第3版」(2020年発行)に沿ってワクチン接種の指導を行っています*。

入学前の準備として、現在までの予防接種歴(麻疹・風疹・ムンプス(流行性耳下腺炎)・水痘・B型肝炎・結核(BCG)・ポリオ・三種混合(DPT)・日本脳炎)をご確認ください。入学後すぐにこれらの予防接種歴の調査を行い、接種状況によって、追加のワクチン接種の指導を行います。

なお、上記感染症の免疫の確認に関して、医療従事者のためのガイドラインでは、罹患歴や抗体価ではなく予防接種歴を基に判断することが推奨されていますので、ご了承ください。

入学前に、下記の①②をご準備いただきますようお願いいたします。

①麻疹・風疹・ムンプス(流行性耳下腺炎)・水痘・B型肝炎の予防接種歴について、「1歳以降に接種した予防接種歴(年月日)」の記録が分かるもの(母子健康手帳等)の該当ページを撮影またはスキャンしたものを、ご入学までにご準備ください。また、B型肝炎のワクチン接種後の抗体検査で陽性であった記録があれば、併せてご準備ください。入学後、授業支援システム「CLE」から書類データを提出していただきます(提出先は入学後にご案内します)。

※接種年月日の記載がない接種記録は無効ですので、ご注意ください。

②結核(BCG)・ポリオ・三種混合(DPT)・日本脳炎について、母子健康手帳等で予防接種歴の有無をご確認ください。予防接種歴の有無のみ、入学後にご報告いただきます。

※接種年月日の報告および接種記録のコピーの提出は不要です。

病院等の医療施設で実習や Teaching Assistant (TA)を行う予定の学生は、

1) 麻疹・風疹・ムンプス(流行性耳下腺炎)・水痘のうち、予防接種歴が「1歳以降に1回のみ」の項目については、新たに1回ワクチンを接種していただきます。

※抗体価が陽性であっても、ワクチンの追加接種は免除になりません。

2) 1歳以降の予防接種歴が1回も確認できない項目とB型肝炎については、ご入学後の5月頃に、抗体検査を受けていただきます。その結果、抗体が陰性または擬陽性である場合には、ワクチン接種の対象となります。なお、B型肝炎の接種歴(1シリーズ3回)があり、その後抗体が陽性であった記録が残っている場合、B型肝炎の抗体検査は免除されます。

ご不明な点がございましたら、保健学科教務係(E-mail: vaccine@sahs.med.osaka-u.ac.jp)にご連絡ください。メール件名は「問い合わせ: 予防接種歴の調査について」としていただきます。

以上